

R8 親と子の統計教室実施報告

親子で学ぶ統計の基礎と活用方法



統計教室の目的と取り組み

親子で学ぶ統計

親子参加型の統計教室は、家庭での学び継続と対話促進に貢献しています。

体験型学習の導入

アンケート調査とグラフ作成体験を通じて、思考力と表現力の向上を目指します。

成果の発信機会

統計グラフコンクール参加を促し、子どもの達成感と学習意欲を高めます。

地域での統計教育推進

教育委員会や学校の協力のもと、県下3会場（東部、中部、西部）で統計教育を推進します。



山口会場（6月13日）の様子

講師は、宇部市立神原小学校の松永先生です。

午前の部

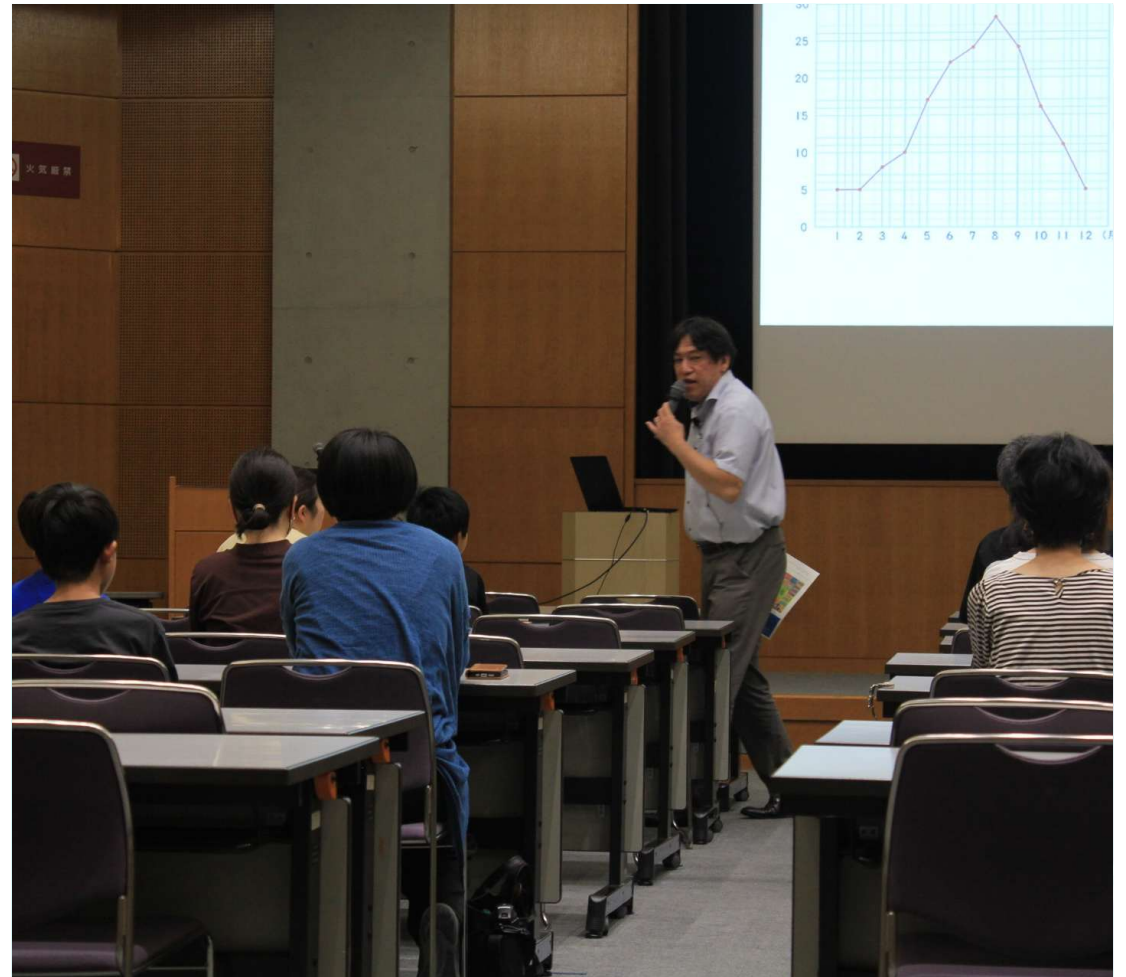
小学校1～3年生の親子が、データ収集とグラフ作成を体験し、統計の基本を学びました。

午後の部

小学校4～6年生の親子が、ヒストグラムや絵グラフを学び、協力してミニポスターを制作しました。

学びの成果と効果

多様な統計表現を理解し、創造性と協働性を育む学習機会となりました。



下松会場（6月21日）の様子

講師は、周南市教育委員会の鬼武先生です。

午前の部

小学校1～3年生の親子を対象に、ゲームと自己紹介で緊張をほぐした後、絵グラフ作成を実践的に学びました。参加者は他者に質問し、データ収集も経験しました。

午後の部

小学校4～6年生の親子を対象に、基礎的な統計理解から始め、アンケートの取り方を実践的に学びました。自己紹介からお礼のあいさつまで各自積極的に取り組んでいました。

学びの成果と効果

子どもたちは、テーマを決めて、アンケートを行うことでデータを主体的に収集する力を身につけました。



下関会場（6月28日）の様子

講師は、下関市立一の宮小学校の山城先生です。

午前の部

小学校1～3年生の親子が参加し、統計の種類や絵グラフ作成法を学び、データ収集とミニポスター作成を体験しました。

午後の部

小学校4～6年生の親子が参加し、インタビューを通じてデータを収集し、ミニポスターを作成しました。

学びの成果と効果

親子で協力しながらポスターづくりに取り組むことで、家庭内のコミュニケーションが活性化し、学びの継続に繋がりました。



統計グラフコンクール 特選作品展示紹介



展示概要

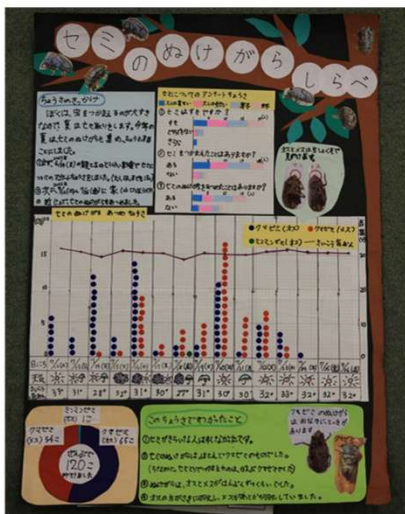
全会場で令和7年度山口県統計グラフコンクール特選作品を展示しました。

子どもたちの作品を通じて、創造力と学びの成果が共有できたと思います。

単なる展示ではなく、学習の延長としての意義を感じ取っていただけると幸いです。

特選作品(山口県統計グラフコンクール)

第1部



宇部市立厚南小学校
2年 中島 瑞輝 さん

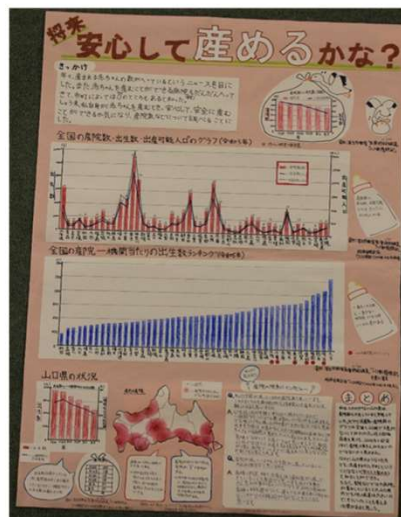
第2部

全国コンクール入選



下松市立公集小学校
4年 藤屋 陽向 さん

第3部



山口市立湯田小学校
5年 渡邊 涼菜 さん



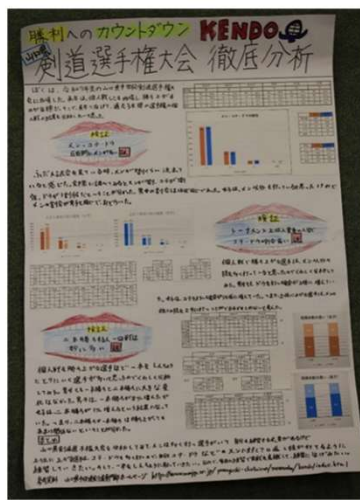
第4部

全国コンクール佳作



山口市立鴻南中学校
3年 原川 灯里 さん

第5部



晃英館中学校
1年 舛田 權 さん

第6部



山口県立防府高等学校
1年 高田 紫桜 さん
一般 高田 彩也香 さん



統計教室の成果と今後への展望

主体的なデータ活用

子どもたちはデータを主体的に扱い、結果を分かりやすく表現する力を身につけました。

親子の協力学習

親子で協力しながら学ぶことで家庭内のコミュニケーションが活性化し、学びの継続に繋がりました。

統計グラフコンクール効果

コンクールの作品展示が参加者の学習意欲を高め、多くの児童が挑戦意欲を持ちました。

広報と今後の展望

写真で活動の様子を伝え、具体的情報を示すことで信頼性を高め、参加者の一層の増加を目指します。

